

補助事業番号 23-1-037

補助事業名 平成23年度 国際交流の推進活動 補助事業

補助事業社名 特定非営利活動法人 放送批評懇談会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

日本、韓国、中国3ヶ国のテレビ番組制作者が一堂に会し、各国の参加作品の鑑賞や質疑応答、シンポジウム等の交流を行い、共同制作を促し、番組制作力を発展させるなど、各国の放送文化の向上を図り、相互理解、文化交流を促進することを目的とする。今回は、特に開催地（札幌）の一般市民が参加可能な番組鑑賞会、シンポジウムも併せ行うなど、各国の番組制作者と市民たちのより広範な相互理解を促進させ、もって公益の増進にも寄与する。

### (2) 実施内容

日本、韓国、中国の番組制作者、放送関係者が参加し、作品鑑賞や意見交換、テーマについての討議などを行う。日程は4日間とし、フォーラムは次の4つの柱とした。

- ① 前年1年間の放送番組からテーマに沿ったドラマ、ドキュメンタリー、エンターテインメントの各国の参加作品の相互鑑賞、制作者を交えて質疑応答。各国の番組制作状況を相互認識すると共に、シンポジウムや全体のパネルディスカッション。そして、参加作品の中から、グランプリ作品を選出した。
- ② 共同制作の検討、意見交換、並びに番組及び制作者の親睦、交流。
- ③ 一般市民のために各国の参加作品の鑑賞会を同時開催し、制作者との質疑応答や交流の場を設ける
- ④ 3月11日の東日本大震災があったことから、『テレビは震災をどう伝えたか』をテーマとするシンポジウムを合わせ開催した。

ア. 開催期間 2011年9月22日（木）～25日（日）の4日間

- 日程
- |     |   |
|-----|---|
| 1日目 | 開会式、基調講演（文化人などのゲスト講師）、歓迎懇談会ほか                 |
| 2日目 | 作品鑑賞（質疑応答、ディスカッション）、<br>シンポジウム「テレビは震災をどう伝えたか」 |
| 3日目 | 作品鑑賞（質疑応答、ディスカッション）、シンポジウム、交流懇談会              |
| 4日目 | 地域作品上映、受賞式・閉会式、シンポジウム                         |

イ. 開催場所 北海道大学 学術交流会館

ウ. 参加者 3カ国のテレビ番組制作者や放送関係者、研究者等（日本60人、韓国20人、  
中国17人）と、その他一般市民（約30名）参加

エ. 大会テーマ 『地域と暮らし』



## 2. 予想される事業実施効果

今回のテーマ、地域の暮らし、災害を、3国の作品、そしてそれらに関して行われた議論は、放送人が各国の放送事情を乗り越えて持つべき共通の理念を強く示し得たといえる。

制作者たちの忌憚のない意見の交換を通じて、放送文化の向上と各国の放送事情についての相互理解を深めるという所期の目的を果たした。今日、三国のテレビの制作力、作品のレベルは、殆ど差がないことが明らかになっている。こうした中で、生活や、災害という共通したテーマに関しては、今後3国の制作者の議論は、益々重要となってきた。

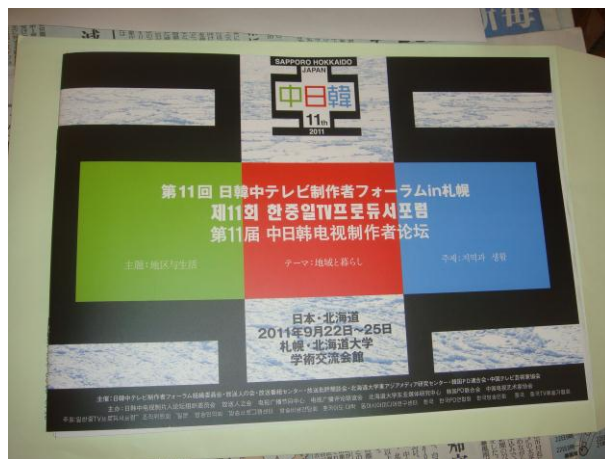
今後、このフォーラムに参加するメンバーたちが、こうした視聴者の関心の高い

テーマに関する作品を共同して制作し、その作品が、3国で同時に放送されるような日が現実になってほしい。今後とも、このフォーラムを継続する必要がある。

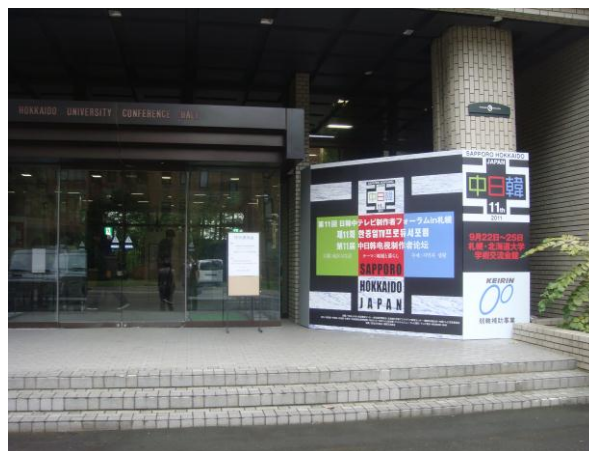
### 3. 本事業により作成した成果物等

パンフレット 250部

チラシ・ポスター 各200部



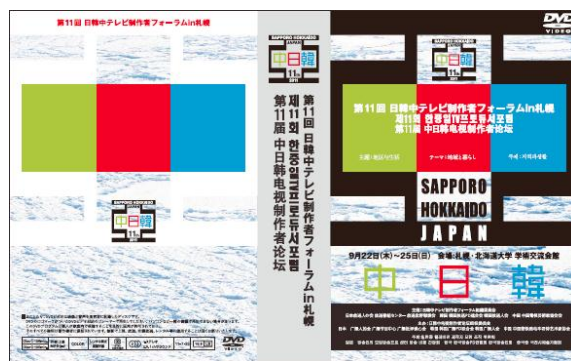
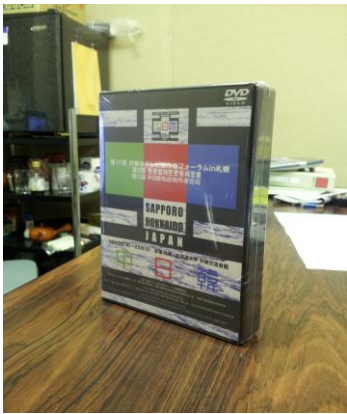
### 外看板



## ステージ看板



## DVD



## 4. 事業内容についての問い合わせ

団体名 : 特定非営利活動法人 放送批評懇談会

住所 : 160-0022

東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

代表者名 : 理事長 音 好宏

担当者名 : 放送人の会

幹事 渡辺 紘史

電話番号 : 03-3221-0019

F A X : 03-3221-0019

E-Mail : [info@hosojin.com](mailto:info@hosojin.com)

U R L : <http://www.hosojin.com>